

「2年目のしめくくりに向けて」

早いもので、平田小学校2年目も最後の月になりました。卒業式までの授業日数は13日です。卒業を迎える6年生はもちろんですが、下級生も6年生の姿を手本にしなが、新たな学年に向けて最後のまとめをがんばっています。学校経営においても、来年度の教育課程の作成も終盤を迎えております。今年度の成果や課題を踏まえ、改善を図っていきながら進めております。そこで、今年度の評価と来年度の方角について、今現在の状況を説明させていただきます。

1. 学校教育目標について

「高い志を持ち、たくましく生きる子の育成」については、開校以来の目標でもあり、次年度に引き継いでいきます。特に27年4月からは、「第六次山形県教育振興計画」や「酒田市教育振興基本計画の後期計画」がスタートすることになります。また、教育委員会制度が一部改訂されることにより、①教育委員長職が廃止され、教育長が委員長職を兼ねる②首長が教育施策の大綱を策定する。③首長と教育委員会との連携を図るために、「総合教育会議」を新たに設置し、教育施策の大綱等について協議することになります。

県、市の動きともに3月議会での決議を待つこととなりますが、すでに六教振については、昨年9月に案が公表されております。また、首長の教育施策の大綱については、今後策定されることとなります。いずれも新年度になってからの動きとなりますが、本校の学校教育目標は統合前から、東日本大震災や「いのち」をつなく、「生きぬく」「ふるさと教育」等々が背景に検討されてきたものです。こうした経過もあり、今後の教育情勢や地域の実情・子どもの実態を鑑みながら、経営の重点や教育課程の編成において、適切に評価改善を図っていきたくと考えております。



2. 経営の重点について

1) 地域に根ざし、地域とともに歩む、開かれた学校づくりの推進（地域素材、地域人材の活用）

- 昨年度に続き、各コミ振の「地域の教育力向上事業」を活用しながら、地域の先生から教えていただくことができました。継続することで、活用する学年が固定化してきており、円滑に進められています。
- 学年ごとに地域めぐりや地域の先生との関りや学習の場を設定し、進めることができました。他の旧学区の様子や特色について学び、関わることができました。
- 復元古窯での楽焼など PTA 親子行事での新たな活動もありました。できた作品は各地区の地域まつりで展示していただき、地域理解の推進にも寄与できたことと思います。
- ▲同じ場所に複数の学年が訪問する事もあったことから、それぞれの学年のねらいや教科領域との関連から検討していきます。また、旧東平田小の校舎跡地においては、新しい公園施設関連の工事が完了していないことから、完成までの見学体験活動について検討しています。

▲昨年度の反省に基づき、福祉ボランティア活動について検討し、学年毎に訪問する場所を設定しました。しかしインフルエンザの流行期にあたるなどで実施できなかったこともあり、次年度は時期について再検討しています。

2) 「確かな学力・基礎基本の確実な定着」の推進

○昨年度は「(学級)集団づくり」「児童・集団の実態把握と適切な対応」を最優先に取り組み、一定の成果がありました。今年度は安定した学級集団をもとに、①授業改善と②教師の授業力アップを図ることにより、学力向上を一層推進していくこととしました。

そこで酒田二中とともに、「酒田市小中授業力向上研修会」の会場校として他校の先生方に6年算数の授業を公開し、ご指導をいただくことにより、日常の授業実践に生かすように努めました。また、研修会の講師の森川みや子先生からは、学校研究の講師として、算数科について1年間を通して一人ひとりの先生方に、指導内容の分析や授業の組み立て方などを詳細に指導していただきました。

その結果、子ども達の「学ぶこと」に「楽しさ」も加わり、それぞれの子ども達に力をつけることができました。教師集団においては、教材の見方、授業の組み立て方等について、多くの学びを得ることができました。また、今年度は図形領域についての研究でしたが、来年度も森川先生をお招きし、数と計算や数量関係に焦点を当てて、子ども達に一層力をつけられよう学び続けたいと思います。

○学級学年だよりは、単に学校での出来事をお知らせする内容にとどめず、どのような学び方をしているのか、お家で取り組んでいただきたいことなどを具体的にお伝えするようにしました。友達の様子をお手本にするなど、家庭においても子どもと話題にしながら、活用していただければ幸いです。(例：家庭での読書の奨励、友達のノートの工夫の様子、卒業を前に提出物が提出されないことへの危機感、行事の振り返り感想等)

○授業参観においても、「見てもらう」内容について検討し、担任と子どもが真剣に学びあう姿を具体的に家庭の皆様に見ていただくように努めました。子どもの学びの様子を見ていただくとともに、自他の子どもが高め合う方法や様子を理解する機会でもあります。また、子どもの一般的な発達の様子について客観的に捉える眼も養う絶好の機会だからです。

○読書については、「全校で2万冊の貸し出し冊数を」という目標が2月に達成されました。今年度は読書の意欲を高めるために菊地悦郎氏のピエロ講演や阿蘇孝子氏の読み聞かせ、読書での異学年交流(リーディングパーティ)など、読書週間を中心に様々な取組を行いました。また、毎月の地域の方々や母親委員会の読み聞かせなど、読書の楽しさをたくさん体験してきました。読書習慣については、さらに身につけて行く必要があるとの家庭へのアンケート結果でしたが、今後とも推進していきたいと考えております。なお、菊地悦郎氏、阿蘇孝子氏ともに、「平田小の子ども達の聞き取りの態度が非常に立派です。読み聞かせを十分に体験して、聞く態度ができています」と、お褒めの言葉をいただいております。お家でも取り組んでいただければ幸いです。

▲二中との情報交換を密にしていく中で、小学校段階で、確実に身につけておくべき事項を共通理解し、中学校に送り出したいと考えました。そこで、「かけ算九九がわからないまま、進学させない」ために、九九の定着について、3年生以上の全児童の実態調査を行いました。定着が不十分な児童については、教育支援員や加配の先生方の支援もいただきながら、放課後の個別指導などで対応しているところです。他の教科についても、ローマ字、47都道府県が言えることなど、具体的に抽出し、取り組んでいきます。

3) 「いのち」を大切に、豊かな心を育み、関りあう集団の育成

○学校は子ども達にとって、おとなの「社会」の前段階の「社会」とも言われています。学級をはじめ、様々な活動の中で同学年や異学年との関りを通して、自他の存在感や有用感を自覚することができます。子ども達は人との適切な関り方やルールを学び、身につけながら成長していきま

す。また、成長して行く過程で困難やトラブルが発生することもあります。自らの力で「乗り越える」体験を積み重ねることで、大きく成長する子の事例は、少なくありません。

- ▲「いじめの調査」や普段の家庭・地域からの連絡、子どもからの様々な情報など、アンテナを高くしながら、いじめ防止に努めている所ですが、残念ながらゼロとはいえない結果でした。子どもからの聞き取りをもとに、学年や子どもの成長に応じ、繰り返さないための指導と事後の見届けを確実に行うようにしています。また該当する保護者の方にも説明しながら、ご理解とご協力、ともにいい方向にむけて連携して行くこととお話してきました。現在の所、学校で把握しているいじめはありませんが、もし気になることなどがありましたら、具体的に事実をお知らせ願います。今後も、「いじめはどの学校でも、どの子にも起こりうる」ことを前提として、子ども達とむきあって行きます。皆様からのご理解とご支援を引き続きお願いいたします。

4) 心身ともにたくましく育つための教育活動の推進

○2月26日現在、194名全員が出席した日は、21日ありました。学校規模からみると非常に少ない数字です。特に学校規模から見て、「不登校」とされる、30日以上欠席の子がいないことについて、市教委訪問の際にお褒めの言葉をいただきました。ご家族の皆様の励ましやご配慮の賜物と感謝しております。

- ▲体力テストの結果では、ボール投げ、瞬発力など、全体的には昨年よりも向上しているのですが、持久力、走力、敏捷性の課題が見られました。持久走や外遊びを奨励しながら課題解決に努めていく必要があります。また、「全力を出しきる」気持ちの醸成にも着目していく必要性があります。素直でやさしい子ども達ですが、昨年同様「心のたくましさ」を様々な場面で育てていく必要性を感じております。中学校での生活にも直結する大きな課題です。

- ▲健康診断の結果をみると、視力検査や歯科検診で通院を勧められた子の受診者が少ないことが大きな課題です。視力については高学年になるにつれて未受診者が増えています。歯科については低学年の未受診が多い現状です。受診した結果、「異常なし」であれば安心して日常生活を送ることができます。90%の受診率で満足せず、100%の受診をめざし、ぜひともご家族の皆様から具体的な行動をお願いします。春休みを生かしてください。

5) 安心安全な学校づくり

○通学に関しては、見守り活動や状況に即した対応をしていただき、感謝しております。おかげ様で、登下校時の大きな事故もなく経過しております。

○地域みまもり隊につきましては、昨年度組織化された「平田小みまもり隊」の皆様方のご協力をいただき感謝しております。今までの各地区ごとの見守り活動を引き続き、お願いいたします。

- ▲今年度は、指や手首足首などのケガや衝突によるケガが目立ちました。特にボールを使った活動での怪我や、友達同士がぶつかったとう事例が少なくありませんでした。

ドッジボールやバスケットボールなどの扱い方の課題もありそうです。様々な運動を体験し、用具器具を扱う機会を増やしたり、習熟させたりすることも必要かと思われれます。また、危険を予知し、事故を防ぐための行動の仕方について今後とも指導を継続していきたいと考えております。

3月の行事予定

▲自転車乗りについては、大きな事故は発生しておりませんが、春休みにかけて自転車に乗る機会が出てくるかと思えます。自転車の点検はもちろんですが、子どもの自転車乗りの技能や交通ルールの理解の程度についても実際に確認していただき、事故絶無に向けて対応していただければ幸いです。

▲自転車での加害事故に対する損害賠償もかなり高額な判決が出ております。最悪の事態を想定して、保険加入という備えについても、家庭でも検討していただければ幸いです。

まだまだ書き足りないところはありますが、機会を見ながら皆様にお伝えしたいと考えております。

今後とも、地域の皆様のご支援とご協力をどうかよろしく願いいたします。

＊＊学校新聞快拳＊＊

がんばる平田小

＜全国学校新聞コンクール＞

小学校新聞の部 奨励賞 「ドリームタイムス」

＜小林教育振興基金青少年善行奨励賞＞

6年 3名

＜酒田市体育協会優秀選手勲功章＞

躰道 6年 女子

＜白崎資金スポーツ優秀選手表彰＞

躰道 6年 女子

陸上競技 6年 女子

相撲 3年 女子

＜くらしの文集＞

特選 6年 男子 5年 女子 4年 男子

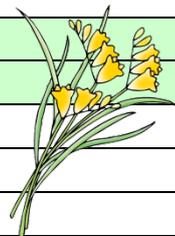
3年 女子 1年 女子

＜酒田の子ども＞

特選 6年 男子 6年 女子

3年 女子 2年 男子 1年 女子

日	曜	こと	が	ら
1	日			
2	月	学校安全日		
3	火			
4	水			
5	木			
6	金	読み聞かせボランティア(6年)		
7	土			
8	日			
9	月	職員会議		
10	火	P T A評議員会(27年度役員)		
11	水	地域見回り日		
12	木			
13	金	スクールバス最終日 卒業式全体練習		
14	土			
15	日			
16	月			
17	火	終了式 卒業式全体練習・式準備		
18	水	卒業式		
19	木	年度末・年度始め休業4/7迄		
20	金			
21	土			
22	日			
23	月			
24	火			
25	水			
26	木	P T A会計監査 P T A専門委員会(27年度役員)		
27	金	離任式		
28	土			
29	日			
30	月			
31	火			



＊＊開校2年目にして 学校新聞が全国で奨励賞というのは 快拳です！！ ＊＊